

一

次の各問いに答えよ。

問一 次の傍線部の漢字は正しい読み仮名に、カタカナは正しい漢字に改めよ。(楷書ではつきり大きく書くこと。)

- ① センレンされた立ち居振る舞い。
- ② カフクはあざなえる縄のごとし。
- ③ 新薬の効果についてはカイギ的だ。
- ④ 歳とともに運動神経がニブる。
- ⑤ 長い間のセンブク生活に疲れる。
- ⑥ 古着もツクロえば十分着られる。
- ⑦ 平穏無事な生活を期待している。
- ⑧ 悪貨は良貨を駈逐する。
- ⑨ 辛酸をなめる経験を積んだ。
- ⑩ 彼も損害を被った一人だ。

問二 次の熟語のうち、「就職」と同じ構成の熟語を、ア～オのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 雷鳴 イ 俊足 ウ 慶弔 エ 規則 オ 遷都

問三 月とその異名の組み合わせとして正しいものを、次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 一月⇨睦月
イ 七月⇨水無月
ウ 八月⇨文月
エ 十月⇨霜月

オ 十一月〓神無月

問四 次の作品のうち、『方丈記』と同じ時代の作品を、ア～オのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 雨月物語 イ 土佐日記 ウ 枕草子 エ 平家物語 オ おくのほそ道

問五 次の言葉の意味として最も適当なものを、あとのア～オのうちからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

(1) エビデンス

ア 根拠 イ 結果 ウ 過程 エ 検討 オ 合意

(2) 恣意的

ア 理性的でなく、感情的にふるまうこと イ 人情味がなく、自己の利益のみ考えること
ウ 具体性に欠け、頭の中だけで考えること エ 論理的必然性がなく、勝手に判断すること
オ 熟慮することなく、即断すること

二

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

問一 本文中の空欄 に入る最も適当な言葉を、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 情報のエッセンスを広げて具体物へと戻したもの
- イ 抽象化した概念がある具体物の中に見出したもの
- ウ 具体の代表ではなく共通する概念をまとめあげたもの
- エ 具体から情報のエッセンスだけを取り出し抽象化したもの

問二 傍線部 A 「ことばはモノや の中に 」
次の説明文の の中に ※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づきこのようなことを述べたものか。
掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

人の動作を表す「歩く」と「走る」ということばは、人が両足を交互に動かして前に進むという点では同じだが、絞り込まれた特定の基準、すなわちここでは だけに注目してカテゴリーをつくって生まれたことばと考えられる。

問三 傍線部 B 「ことばと象徴能力は遊びを仲介にしていっしょに発達していく」とは、どのようなことを踏まえて述べたものか。
その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。
ア 「言語の発達」にとって最も有効な方法は、「ふり」をする行為だということ。
イ 「言語の発達」は、子どもの自然な遊びの中に見出すことができるということ。
ウ 「ごっこ遊び」の中には、ことばを学ぶために必要な象徴化があるということ。
エ 「ごっこ遊び」は、モノの特徴をしつかりと捉えるのに有効な方法であるということ。

問四 傍線部C「遊びながら〇〇を覚えます」とあるが、こうした玩具は、本文中に示された「遊びの五原則」の中のどの原則に反すると筆者は考えているか。それにあたるものを「遊びの五原則」から一つ選び、番号で答えよ。

問五 傍線部D「象徴能力を育むために知っておいてほしいこと」とあるが、筆者がこのように述べている理由として、最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 目的限定の道具は、子どもの創造性を育むことにはつながらないと考えているから。

イ 目的限定の道具は、何事にもすぐに飽きてしまう子どもを育成してしまうと考えているから。

ウ 目的非限定の道具は、一時的に脳を活性化させるだけで、想像力は育たないと考えているから。

エ 目的非限定の道具は、子どもの遊び全般に関して大切なことを教えてくれる道具だと考えているから。

問六 傍線部E「よい絵本も同じだ」とあるが、筆者は「よいおもちゃ」と「よい絵本」の間にどのような共通点を見いだしているか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 脳にすぐに刺激を与える点

イ 考える幅の広がりがある点

ウ 子どもの興味を引きやすい点

エ 長期的に役立つ証拠のある点

三

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき
掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※本ページにおける一部の文章については、著作権法の規程に基づき
掲載しておりません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(三浦哲郎『マヤ』)

問一 傍線部A「これからひとりどこへいくつもりなのかとマヤに尋ねないではいられなかった」とあるが、それはなぜだと考

えられるか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 自分についてきたマヤの感触が新鮮だったために、もう少し自分の側に置いておきたいと思ったから。

イ マヤに親しみを感じ始めてきただけに、小さい身で都会の雑踏のどこへ行くつもりなのか気掛かりだったから。

ウ マヤの言い方や態度に圧倒されていただけに、これからこの子がどこに行くのだろうと興味をもち始めたから。

エ 不思議な魅力を感じさせるマヤに惹かれはじめてきたので、都会のどこかに連れて行ってやろうと思い始めたから。

問二 傍線部B「マヤは、それを残らず持つて家を飛び出してきたのであった。」という一文で始まる段落には、「遠いところ」という言葉が何度か使われており、そのうちの二カ所には「遠いところ」と傍点が打たれている。この傍点が打たれた「遠いところ」とは、マヤにとってどのようなところか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア どこといった具体性のない漠然とした場所ではあるが、いまの満たされない自分の気持ちを満たし包み込んでくれるようなところ。

イ 父に教えられたように、母は遠いところにいると確信しており、母に会えずとも少しでも母に近づいたと感ずることができるところ。

ウ 父が遠いところへ旅立ったのをきっかけに、自分もどこか知らないところに行きたいと思い始め、そんな自分の気持ちを満たしてくれるところ。

エ 実の母の死後、初めて心を開くことのできる人が今目の前におり、その人と一緒に出かけることで新しい生活が始まるだろうと感じられるところ。

問三 傍線部C「耕二は顔を真っ赤にして、『ああ、汝の亭主の代わりよ。俺はこの子を自分で育てて俺の嫁にする。文句あつか。』といった」とあるが、この言葉の中に、耕二のどのような気持ちを読み取れるか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一

つ選び、記号で答えよ。

ア 兄が帰って来ないのは嫂の態度にあることを知らせたい気持ちと、ひそかに自分を頼りにしているマヤと田舎で暮らせるようになったことを喜ぶ気持ち。

イ 嫂からのぶしつけな言葉に当てつけを言ってやり返したい気持ちと、説明しにくいマヤを連れてきた理由をこの勢いで言い逃れてしまおうとする気持ち。

ウ 自分でもマヤの気持ちに押されるままに連れて来てしまったことを後悔する気持ちと、自分がこの子を育てるということで、迷う心を奮い立たせたい気持ち。

エ マヤに心ひかれつつある自分に気付きそれを悟られまいとする気持ちと、無造作な言葉で返すことによりこの子と一緒にここで暮らすことに反対させないようにしようとする気持ち。

問四 二重線部 a e の文は、それぞれ耕二のマヤに対する気持ちの変化がよく表された一文である。このうち、耕二のマヤに対する「相反する気持ち」が最も良く表れている一文はどれか。記号で答えよ。

問五 傍線部 D 「生卵」は、この作品の中で、どのような役割をもつて描かれていると考えられるか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 田舎での生活は貧しく質素だが幸せであることを暗示するために描かれている。

イ 都会に戻っても田舎での生活を味わうことのできる貴重品として描かれている。

ウ 継母には到底出せない物であり継母を困らせるための道具として描かれている。

エ 都会にはない生き生きとした自然の生命力と田舎暮らしの象徴として描かれている。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

中頃、なまめきたる女房ありけり。世の中絶え絶えしかりけるが、みめかたち愛敬づきたりけるむすめをなむもたりける。十七八ばかりなりければ、これを、いかにもしてAめやすきさまならせむと思ひける、かなしさのあまりに、八幡へむすめともに、泣く泣くまゐりて、夜もすがら御前にて、「Bわが身は今はいかにも候ひなむ。このむすめを心やすきさまにて見せさせ給へ」と、数珠をすりてうち泣きうち泣き申しけるに、このむすめ、まゐりつくより母の膝を枕にして、起きもあがらず寝たりければ、暁がたになりて母申すやう、「いかばかり思ひたちて、かなはぬ心にaかちよりまゐりつるに、かやうに夜もすがら、神もあはれとおぼしめすばかり申したまふべきに、思ふことなげに寝給へる、うたてさよ」と、くどきければ、むすめbおどろきて、「かなはぬ心地に苦しくて」といひて、

C身の憂さをなかなかなにと石清水思ふ心はくみてしるらむ

とよみたりければ、母もはずかしくなりて、ものもいはずして下向するほどに、七条朱雀の辺にて、世の中にときめき給ふ雲客、桂より遊びて帰り給ふが、このむすめをとりて車にのせて、cやがて北の方にして、始終いみじかりけり。大菩薩この歌を納受ありけるにや。

(『古今著聞集』)

問一 二重線部a・cの口語訳として正しいものを、次のア～エのうちからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|---------|---|--------|---|----------|---|------|---|---------|
| a | 「かちより」 | ア | すぐに | イ | 勝ち気な気持ちで | ウ | 徒歩で | エ | まかせて |
| b | 「おどろきて」 | ア | びっくりして | イ | 目を覚まして | ウ | あわてて | エ | 仰々しい様子で |
| c | 「やがて」 | ア | むやみに | イ | やつとのこと | ウ | まっすぐ | エ | そのまま |

問二 傍線部A・Bの解釈として正しいものを、次のア～エのうちからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- A 「めやすきさまならせむ」
- ア 安全な場所に移そう
- イ やさしい人に嫁がせよう

ウ 見苦しくない状態にしよう エ 見た目も美しい姿にしよう

B 「わが身は今はいかにも候ひなむ」

ア 私の身は今に始まったものではありません

イ 私の身はどのようになってもおかまいません

ウ 私の身はどのようにするのがよいのでしょうか

エ 私の身は今はどのような状態と言えるでしょう

問三 傍線部Cの「身の憂さを・・・」の歌は、どのような気持ちを詠み込んだものか。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 自分の身のつらさは何とも言えないが、石清水の神様は理解してくれている。

イ 自分の身のつらさを石清水の神様にお願したら、きっとわかってくれるはずだ。

ウ 自分の身のつらさは石清水の神様によって救われ、今はかえって楽になったことだ。

エ 自分の身のつらさを石清水の神様に託すとよいということは、既に知っていたことだ。

問四 この説話は、どのような趣旨で書かれたものか。最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 恵まれない娘の境遇を気遣って、優しい母親が八幡大菩薩に祈り続けた。

イ 歌が上手な娘であったので、八幡大菩薩がそれを聞き入れて幸せにした。

ウ 歌が上手な娘であったが、八幡大菩薩がそれを聞き入れてはくれなかった。

エ 親の思いを受け入れない娘ではあったが、八幡大菩薩が幸運を与えてくれた。